



長門の話題 Topics

恩湯等施設整備・運営事業に関する基本協定を締結 湯本らしい生活文化の創出を

4月17日(火)、恩湯等施設整備・運営事業の基本協定締結式が市役所で行われました。市と基本協定を締結したのは、2月に行われた同事業のプロポーザル審査委員会で優先交渉者となった「長門湯守株式会社」で、基本協定の締結に先立ち、大西市長が「地元の若手中心に事業に強い思いを持って名乗りをいただいた

た。湯本温泉の再生に向け、大きく羽ばたいてほしい」とあいさつ。長門湯守株式会社の代表取締役が「素晴らしい温泉を守ることが私たちの責務。湯本だからこそ創出できるものを目指していきたい」と抱負を述べました。恩湯等の施設は来年10月竣工、11月開業を目標に設計や工事が進められる予定です。



▲(写真左から) 大谷和弘代表取締役、大西市長、伊藤就一代表取締役



▲両方で基本協定を締結

今年は6月10日(日)に実施 むかつくダブルマラソン実行委員会総会が開催

4月11日(水)、「第2回JAL向津具ダブルマラソン」開催に向けた実行委員会(委員長・長谷川泰生)が日置保健センターで開催、今年度の事業計画などが承認されました。北は青森県から南は鹿児島県まで37都道府県137人がエントリー。今後、ボランティアスタッフ確保や環境清掃など大会に向けた準備が始まります。



▲「すべての人に良かったと思える大会を」と長谷川委員長

青海島の文化・歴史に触れる 青海島千本桜まつりで地域をひとつに

4月8日(日)、青海島さくらの里で3回目となる「青海島千本桜まつり」が開催されました。ステージでは青海島桜姫が発表されたほか、ダンスや吹奏楽、よさこい演舞が披露され、また会場ではサザエなどの海の幸が並び、来場者らは桜を眺めながら地元グルメに舌鼓を打っていました。



▲地域対抗大縄とび大会で地域の結束を

ながとブルーエンジェルスが市長を表敬訪問

シリーズ総合優勝を目指す

3月30日(金)、7人制女子ラグビーチーム「ながとブルーエンジェルス」が市役所を訪れ、大西市長にシーズン開幕に向けた抱負を語りました。国内12チームで競われる「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ」は4月29日・30日の東京での初戦を皮切りに、5月、9月、10月と試合が予定されています。



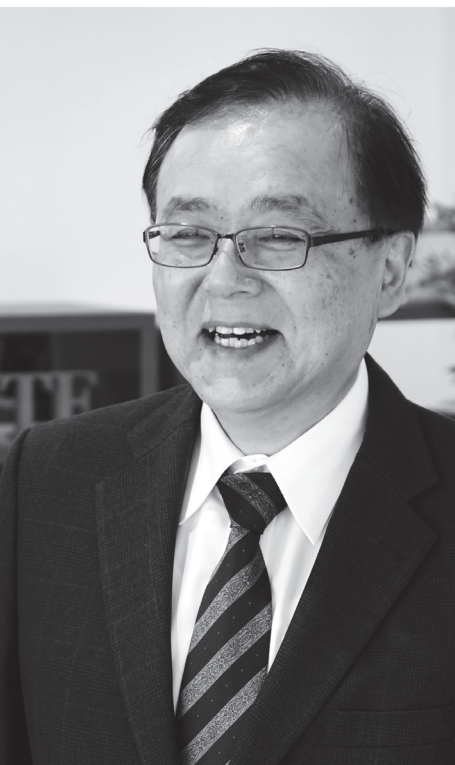
▲ヘーゼル・トゥビック主将など選手らが訪問

We are Nagato 長門をデザインする



宮崎 純孝さん

(長門市観光コンベンション協会事務局長／東深川在住)



4月1日付けで、一般社団法人長門市観光コンベンション協会の事務局長兼事業課長に就任した宮崎さん。長年、旅行会社で企画や営業、マネジメントを担当され、国内外を飛び回った経験をお持ちです。

「売れるものがたくさんある」と長門市の観光素材を評価。21歳の時に先輩に連れてきてもらった千畳敷の印象が鮮明に記憶にあるそうで、長門といえば山の緑と海や空の青のイメージが浮かぶとのこと。「特別な目

的を持ったコト消費の観光振興を追求したい」と語ります。「初めての土地で色々な人とお話するのが楽しみ。長門市に根をやし、自分の明かりを灯しつつ元気に夢を持ってがんばりたい。課題を乗り越え、幅広いパートナーシップと人・もの・情報のネットワークを構築し、持続可能な観光産業の振興に貢献したい。観光まちづくりのかじ取り役として、市民の皆さんと共生する産業の未来を描いていきたい」と抱負を語りました。

「売れるものがたくさんある」と長門市の観光素材を評価。21歳の時に先輩に連れてきてもらった千畳敷の印象が鮮明に記憶にあるそうで、長門といえば山の緑と海や空の青のイメージが浮かぶとのこと。「特別な目



▲長門市観光コンベンション協会の新体制に期待が高まる

二次交通の課題解消と市民の移動性向上を図る

JR新山口駅への直行便開始

4月1日(日)、長門市とJR新山口駅を1日2往復する直行便の運行が始まり、運行開始セレモニーがセンザキッチンで行われ、関係者によるテープカットで出発を祝いました。直行便は毎日運行し、センザキッチン、長門市駅、長門湯本温泉、JR新山口駅北口をつなぎます。



▲ジャンボタクシーで運行